

令和7年度 港南地区 幼保小教育交流事業活動報告

活動テーマ

- 保育士、幼稚園教諭、小学校教諭が合同で研修を行い交流することにより子どもの成長を踏まえた幼児教育と小学校教育の連携と充実を図る。
- 子どもの成長発達連続性を共通理解し、幼児教育から小学校教育への円滑な接続を図る。

活動テーマについて

- こども園、幼稚園、保育園、小学校と顔を合わせて交流することの大切さを確認し、活動をしていく。
- 子どもの育ちに必要なこと、より身近な交流にしていくための在り方について、共通理解を図っていく。

交流事業対象の園・校数

- こども園 7園
- 幼稚園 10園
- 保育所 45園
- 小学校 21校

年間活動報告

運営組織

- 実行委員は、幼・保・小から選出された8名をもって構成されます。
(委員長1名、副委員長2名、庶務3名、会計1名、記録1名)
- 地域を5ブロックに分け、各ブロックの1園・1校(公開保育・公開授業実施)がブロック長を担当します。

令和7年度 ブロック長

第1ブロック 丸山台小学校
第2ブロック 野庭すずかけ小学校
第3ブロック 港南台第二小学校
第4ブロック 上大岡小学校
第5ブロック 吉原小学校

安部幼稚園
野庭聖佳幼稚園
みなみひの保育園
小学館アカデミーかみおおおか保育園
つばさ保育園

活動報告① 年間計画

年間を通して、下記のことに取り組みました

- ① 前期(6月)・後期(2月)総会・・・総会は書面総会としました
- ② ブロック交流会(6月～7月)
- ③ 健やか子育て講演会(港南公会堂 11月6日)
- ④ 幼稚園、保育園と小学校の交流会(随時)
- ⑤ 公開保育・公開授業(各ブロック)
- ⑥ 実行委員会(7回 内ブロック長参加2回)

活動報告② ブロック交流会

○6月～7月に各ブロックの小学校を会場にして交流会を行いました。

- ・顔の見える関係づくりを重ねていくよい機会となりました。
- ・交流計画等、意見を交換でき参考になりました。
- ・園や学校の普段の話を共有できて有意義でした。

活動報告③ 健やか子育て講演会 11月6日 港南公会堂

<講師>

岩間 徹 氏 潤生会岩間整形外科 理事長

津田 幸保 氏 スポーツリズムトレーニング協会 代表理事

<講演テーマ>

「子どもの心とからだの育成」
～スポーツリズムトレーニングをとおして～



活動報告④ 公開授業・公開保育

- 第1ブロック 安部幼稚園
丸山台小学校
- 第2ブロック 野庭聖佳幼稚園
野庭すずかけ小学校
- 第3ブロック みなみひの保育園
港南台第二小学校
- 第4ブロック 小学館アカデミーかみおおおか保育園
上大岡小学校
- 第5ブロック つばさ保育園
吉原小学校

第1ブロック 安部幼稚園 公開保育

2025年11月18日(火) 9:30~12:00

『秋の日の保育』

安部幼稚園では、幼児の保育・教育は「環境による保育」教育だと考え、人間（仲間）・時間・空間の“3つの間”を大切にした園生活をおくっています。

園庭の大イチョウが色づき、秋深まる園庭での子どもたちのあそびや暮らし・保育者の関わり（登園後の自由な場面）と、その後の各学年・クラスの活動を自由に見ていただきました。

3歳児：園庭で集めた自然物と粘土であそぶ

4歳児：絵本『かっぱおやじ』の活動（あべの森で）

5歳児：たかとり山の遠足の後も挑戦はつづく…



『参加者による振り返り（協議）』

保育見学後、小学校3校、保育園4園、幼稚園2園（開催園2名を含む）11名が参加し、協議会による振り返りを行いました。

- ・自分の意思であそび、学ぶ力を身につけていると感じた（小学校）
- ・あそびの中で、子どもの達同志のやりとりやコミュニケーション力・思考力、生活を豊かにする力が育まれていると感じた（小学校）
- ・幼稚園生活と小学校生活との連続性をどう作っていけばよいか悩む（小学校）
- ・禁止の言葉がけではない導き、保育者の支援がある（保育園）
- ・自園（自校）の子どもたちを連れてきて一緒にあそぶなど交流したい（小学校・保育園）
- ・普段から、幼保小の教職員が子どもの姿を共有したり意見交換するなどして知り合っていきたい（幼稚園）



1年1組 体育

「は・な・ま・る どうぶつえんで あそぼう」

本時目標: 転がり方や動き方を選んで、工夫してさらに様々な動物遊びを楽しむことができるようにする。

○園での経験と 小学校の学習のつながり

園によっては、マットを用いて運動遊びをするという経験をしている。その経験を生かして単元を構成した。転がる楽しさの経験を小学校でも十分に味わうことができるように、遊びを通してマット運動で大切にしたい「手で支えての体の保持や回転」「遊び方の工夫」「器械・器具の安全な使い方」が身に付くように、本単元の指導を行った。

マットは、二つ折りにして四隅をそれぞれ持って運ぶことを学習します。



学級目標「は・な・ま・る」

体育だけでなく色々な学習にこの言葉を用いて、楽しい授業づくりを進めています。

マット運動では、「は・な・ま・る どうぶつえん」という単元名で、子どもたちが、いろいろな動物になりきって遊びながら、技能も身に付けることができました。

1年2組 算数

「わかりやすく せいりしよう」

本時目標: ものの個数を種類ごとに整理して、分かりやすく表す方法を考えることができるようにする。

○園での経験と 小学校の学習のつながり

園では、遊び道具の片付けのときに、同じ種類のものを同じ場所に整理することを経験している。また子どもたちから「園ではつりゲームで遊んだ。」という声があがっていた。

このような経験を基にして、遊びの要素を取り入れながら、「さかなつりゲーム」を通し、釣れた種類とその個数が一目で分かるようにするには、どのような整理の仕方が必要かを考えることができるように指導を行った。

「どのさかながつれるかな。」「このさかなをおくつたはんが、かちだよ。」



「つったさかなをばらばらにおいておくと、どれがなんびきかわからないね。」「このさかなだけをまずあつめて・・・」

数の整理の仕方として、同じ種類は縦に揃えて数が見えやすいようにして、違う種類との数の比較は、1匹目、2匹目というように横を揃えて並べていきます。

このようにして、ものの個数を種類ごとに分類整理するよさを感じながら学習内容を身に付け、様々な場面でもこの整理の仕方を取り入れることで、算数と日常生活のつながりをもつことができるようになります。



港南区幼保小教育交流事業 公開授業（第2ブロック） 野庭すずかけ小学校1年生

【あきあそびパーティーたい！】

生活科の授業を公開しました。

10月の遠足で公園に行った際に、子どもたちからは「葉っぱの色がきれいになったね。」「秋だね。」と声があがり、遊びながら季節の変化を感じることができました。その時に拾ったどんぐりや葉っぱを使って遊びたいという意見が出たため、素材で遊びながら少しずつ「みんなが楽しめる秋遊びを作る」活動へと移行していきました。

幼稚園や保育園のときの経験も語ってくれた子どもたち。「どんぐりに顔を描いて人形を作ったよ。」「葉っぱでお面を作ったよ。」「あんまりやったことないな。」といった様々な経験があることが分かりました。小学校では、幼稚園と保育園での経験を踏まえながらさらにパワーアップできるように活動を考えていきました。

「どんぐりつり」や「どんぐりまとあて」など子どもたちのアイディアがたくさん出てきたので、公開授業では今までの素材遊びから発展して、グループでどんな遊びを作ろうかと話し合いをする場面を見ていただきました。





公開保育 「4・5歳児 リズム」 みなみひの保育園

令和7年11月26日(木) 9:15~11:15

みなみひの保育園では「さくら・さくらんぼのリズム」を保育の中に積極的に取り入れています。各クラスで子ども達の年齢や発達に合わせて計画を立てている遊びの一つです。

《ねらい》

- ・健康なからだづくり
- ・やってみようとする意欲
- ・自由に表現する力
- ・異年齢の友達との関わり合い

《保育士の関り》

- ・リズム遊びの充実に向け、全職員がリズム遊びの意味や子ども達への動きの伝え方などを適切に行えるように研修を実施し、リズム遊びを通して体を動かすことの楽しさを実感する。
- ・子ども達と共に体を動かし、その楽しさを共感し合う。

《大切にしていること》

- ・子どもの成長発達に合わせた動き
- ・**リズム遊びは絶対に無理強いさせない。** ⇒ リズムは「自ら動きたい！」という能動的な気持ちを育てることが目的なので、「訓練」のようにならずに子ども達にとって「**楽しい遊び**」になってほしい
- ・**保育士が誰よりも楽しんで参加する**
- ・裸足で行う ⇒ 足の裏や指に刺激がいき、その刺激が脳に伝わる
- ・子どもの動きに合わせたピアノで！



《感想・意見交換など》

- ・公開保育「リズム」を行う様子を見学し、「子どもの姿を見て」「保育士の関わり方」「友達や異年齢児との関わり」「幼児期の終わりまでに育ててほしい10の姿」「小学校の学びへのつながり」など様々な視点で付箋に記入してもらい、その後架け橋カリキュラムデザインシートをもとに、意見交換を行いました。
- ・意見交換を行い、リズム遊びの中に「幼児期の終わりまでに育ててほしい10の姿」がすべて含まれていたことが分かり、様々な視点で見ることの重要性を感じました。また、保育園での生活や遊びが小学校での学びにつながっていることを改めて実感し、乳幼児期の子ども達の実体験の必要性や保育士の関わり方の大切さを考える良い機会になりました。

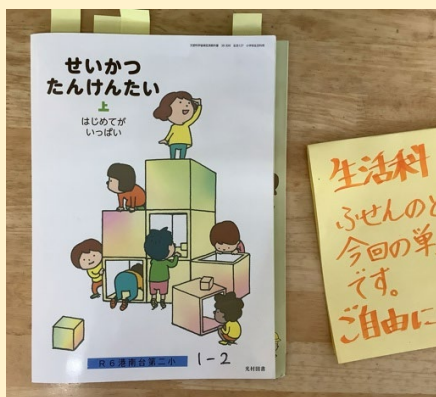


第3ブロック 港南台第二小学校 2025年11月20日（木）5校時

1年生 生活科「あきとともにだち」（光村図書 せいかつたんけんたい）

<学習のねらい>

保育園の友達と見つけた秋のものを使って、仲良く楽しく遊ぶための作戦を考えよう。



- ・おしゃれなこまを作って園の子にあげたいな。
- ・はじめて会う友だちと遊ぶことはドキドキするな。
- ・こまバトルをして誰がいっぱい回るかを対決したい。

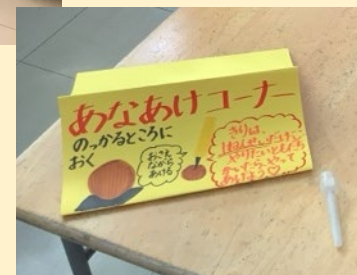


- ・どんぐりに穴をあけるときに（きりが）すっと入るものとそうじゃないものがあったよ。
- ・どんぐりとどんぐりだとボンドがつきにくかった。

<協議会>

- ・市幼保小連携推進地区事業で幼稚園・保育園と昨年より取組をすすめている。職員・子どもの無理のない交流を続けることの大切さを感じている。
- ・「〇〇コーナー」といった場づくりが大切。幼保小のよさ・目的を共有できた。
- ・スタートカリキュラムの共有の大切さ。

- ・こまにおえかきをしたら楽しいよ。
- ・今度、園の友だちと遊ぶときに、どうしたらよいか練習しておこう。
- ・園の友だちと遊ぶための作戦が少し考えられたから明日は前より緊張しないかな。



第4ブロック 小学館アカデミーかみおおおか保育園

2025年11月20日(木) AM9:45~10:45 「植物との関わり～各年齢に応じて季節のあそび～」

5歳児 活動「自分だけのお花づくり」

ねらい：季節ごとの草花に興味を持ち、表現する楽しさを味わいながら創造力を育む。

導入

今まで作った季節の図鑑を振り返り、どんなお花があったか話し合いました。



手作りのお花と生花を使ってフラワーアレンジメントに挑戦！自由にお花を組み合わせて見せる向きを考えながら夢中になって飾っていました。花の匂いや色も楽しみながら取り組んでいました。

他学年の活動

2歳児 「チューリップの球根植え」

球根の形に興味を持ち、皆で協力して植えました。土や球根の感触を楽しみながら観察、水やりをしました。

3歳児 「きのこであそんでみよう」

きのこの感触、色、匂いについて話をしながら積極的に触っていました。その後はオリジナルのきのこづくりで絵画活動も楽しみました。

4歳児 「落ち葉や木の実を使った制作あそび」

戸外活動で拾ってきた秋の自然物を使い、リースづくりをしました。完成すると「みてっ」と友だちに見せ合いながら喜んでいました。



2歳児



3歳児



4歳児

図鑑からお気に入りのお花を選び、紙粘土やフラワーペーパーを使って自分だけのお花を手作りました。



これが手作りしたお花です



参加者の方々の声

- ・本物に直接触れる活動を大切にしながら子どもたちの様々な力を引き出し、育てていることがわかりました。
- ・子どもたちが主体的に参加しており、日々様々な植物と関わってきたからこそ、今日の活動にも期待感をもって楽しそうに取り組んでいるのだらうと感じました。
- ・フラワーアレンジメントでは普段触れる機会が少ない生花を使い、実際に触れデザインする経験が出来るよう働きかける様子は学びでした。
- ・1年生で行う秋あそびの学習に繋がると思い、幼保小の学びの関連性を感じる事が出来ました。

第4ブロック 上大岡小学校 令和7年11月28日(金) 5校時
1年生 体育「まををいっぱいたおそう!プラスワン・ボールなげ!」

本時目標

「攻め方を選んだり、オリジナルで考えたりして、つても多くのボールを当てることができる。」が達成できるように以下の活動をした。

主な学習活動

- めあての確認
- 慣れの運動
- 攻め方の確認
- ゲーム1~3
- 攻め方の振り返り
- 全体共有



協議会(意見交換)

視点①公開授業から見える幼保小の学びのつながり
○音楽を聞いて自ら行動し、楽しく学習に取り組んでいた。
○聞く力や集団で協力する姿が見られた。一方、園では、個の差が大きかったり、勝負へのこだわりが強かったり、集団で協力したりする難しさがある。
→発達の段階を考慮しながら手立てを考えつつ、小学校につながる学びを取り入れていく。

視点②今後の幼保小の交流で期待すること

○小学校がどんな場所でどんなことをするのか見通しをもてるとよい。
○子どもへの関わりについて職員同士話し合える機会を設けたい。
→年度末の生活科の学習を活用して、園児が小学校生活に不安感がないように小学校生活の体験を含めた交流の機会をつくりながら、職員同士話し合える機会も設ける。

5歳児19名の運動あそび・サークルタイム

運動あそび

幼児期に育てたい36の動きをふんだんに取り入れた運動あそびを週2回行っています。2歳児後半から始めており、技能の習得を目的にしたものではなく、自分の体の使い方を工夫しながら、身体のいろいろなところを動かしていくことを目的にしています。自分で考えたり、友だちの様子を見ながら真似してみたり、協力したりと運動能力だけでなく社会性も発揮しながら遊びます。この活動が苦手、嫌いという子はまず、いないほど、子どもたちに人気の活動です。法人内の総合型地域スポーツクラブのスタッフがコーチで、ペップトークを基本とした関わりのもと、子どもたちは楽しみながら、体を動かしています。



サークルタイム

不定期に行っています。あるテーマに基づき、他者の話を聞く態度を養う、わかりやすく話をする、質問する、同意する、違う意見を述べる等を繰り返し行うことで、自己表現力や共感力、集中力の高まりが期待できます。

最初は、わかりやすいテーマ（「好きなもの」「今日の朝ごはん」）から始め、徐々に今の自分たちの課題を取り上げたりします。たとえば、「言われて嫌だったこと、どうしたらいいと思うか」といった気持ち、感情を扱うこともあります。話し合いだけでなく、時にはアイスブレイクとしてゲームをすることもあります。



1年1組 生活「あきとなかよし」

- ・校外学習で集めた木の葉や木の実から想像を広げ、おもちゃなどを作った。
- ・個々の作業ではなく、友達と交流しながら作ることができるように、グループ活動を取り入れた。



1年2組 国語「くじらぐも」

- ・くじらぐもにとびのろうとする子どもたちの様子を想像するために、音読を繰り返し行った。
- ・誰が話した台詞かが分かりやすい板書を心掛けた。



1年3組 図工「スルスルビューン」

- ・工作では、事前に計画を立ててから、制作に入るようにしている。
- ・見本を作り、実際に動きを見せることで、作るものや飾りなどのイメージがもてるようにした。



協議会で話題になったこと

- ・子ども一人ひとりが生き生きと活動していた。
- ・この学習は、「どんぐりで何をしたい?」という問いかけから始まっているが、それは園で「～したい」という経験が繋がっていると思う。
- ・道具の扱い方が安全でよかった。

協議会で話題になったこと

- ・全員で音読するのを聞いて、みんなで統一感をもって、何かをするのは大切だと思った。
- ・園でも読み聞かせはしているが、内容を意識して読む工夫をしたい。(登場人物、何をしたかなど)
- ・園でも、一人でみんなの前で話す時間を設定している。小学校の学習につながればよいと思っている。

協議会で話題になったこと

- ・園では、以前みんな同じものを作っていたが、今は一人ひとりが考えて作るようになってきた。
- ・絵が苦手な園児には見本を見せたり、後から再チャレンジする時間を作ったりしている。
- ・子どもの発想を広げてから、材料は職員が用意している。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の10項目の力を学校で生かしていると感じた。

成果と課題 来年度に向けて

- 健やか子育て講演会
講演会のテーマは保護者・職員共に好評だったが、保護者がより参加しやすい日程、開催方法や周知方法を引き続き検討していく。
- ブロック交流会
幼・保・小の教員が、実践を共有し合ったり情報を交換できたことがよかった。次年度も引き続き交流会を継続していく。
- 公開保育・公開授業
 - ・卒園児の成長を感じ、幼保小の連携の大切さを改めて感じた。
 - ・園と小学校の活動から、学びの連続について考える機会となった。
 - ・幼と保の生活の相違点が発見できてためになった。
 - ・スタートカリキュラムの見直しや共有についての課題